

大量ページ印刷物の自動検査ソフト



HallmarkCenter ホールマークセンター

印刷シミュレート機能

印刷のシミュレート機能追加により、過剰な不良検出を軽減しデジタル/アナログ検査をより強力にサポート

ダイレクトPDF入力 (オプション)

PDFダイレクト入力が可能になりました。Adobe Acrobatと互換性があり親和性の高いAdobe PDF Libraryを採用！

バーコード検査

バーコードのデコードおよび品質保証機能をオプションにてご用意 ※ホールマーク クライアントにて提供

検査結果保存

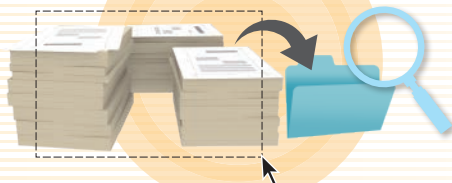
これまでのビューワー、プリント画像に加えPDFレポートが追加されました。また、Macユーザー向けにWebブラウザでアオリ表示が可能なHTMLブリンク形式での保存が可能となります。

新たな歪み補正技術

レイアウト機能への多分割機能の追加で折り目のある輪転機の面付け原稿や軟包装など歪みの多い原稿の検査で過剰な不良検出が軽減されます。

例えば1000ページという大量ページのカタログ

フォルダにドラッグするだけで自動検査できたら？



印刷された紙とデジタルデータでも検査できたら？



しかも人の目では見逃していた不良も確実に検出することができたら？



→ **ホールマークセンターなら可能です。**

しかも検査開始～結果の判断、全ての校了が完了するまでの時間を比較すると



従来の目視での検査...



30時間程度

約29時間の短縮を実現 ※1

ホールマークセンターを用いた自動検査

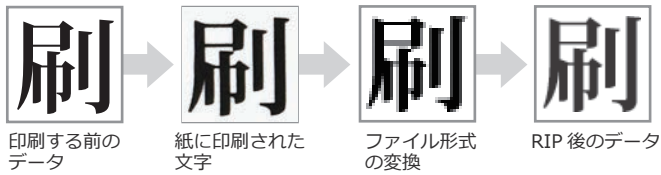
1時間程度

不良発見に費やしていた莫大な時間を有効に使うことができます。

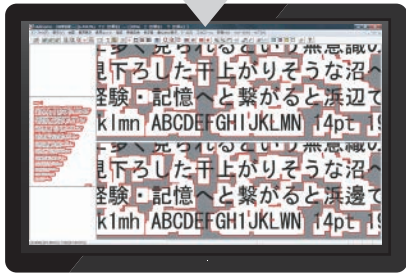
その時見つけるべき不良が「見える」一歩先に行く検査エンジンが検査を変えます

一般的な検査ソフトの抱える問題点

例えばDTPから印刷までの工程の間に、
文字ひとつを見てもここまでの変化が生じています



一般的な検査ソフトは**この差を全て不良だと検出し**
検査結果はこのようになってしまいます。

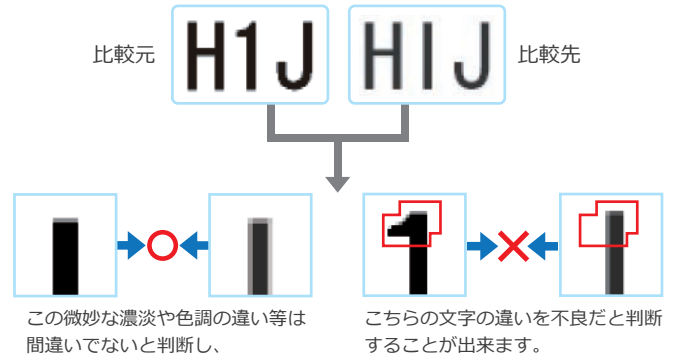


差のある部分が赤枠で囲まれ不良箇所として表示されています。

見つけるべき不良が埋もれ
「色々な組み合わせの検査が可能」と言いながら、
実際の現場では「不良を見つける」ことが出来ません。
多くの一般的な検査ソフトが抱える問題がここにあります。

一歩先に行くアイマイン・エンジン

例えばこの様な比較検査をアイマインが処理すると…

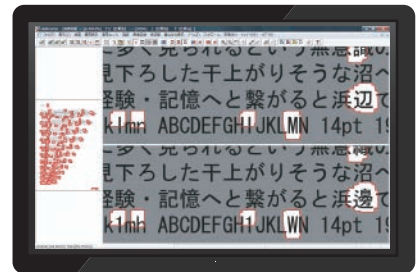


この微妙な濃淡や色調の違い等は
間違いでないと判断し、

こちらの文字の違いを不良だと判断
することが出来ます。

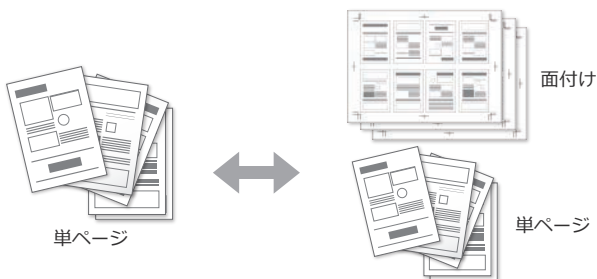
その結果

**「その時見つけるべき不良を見つける」という、
検査ソフト本来の役割を果たすことができます。**

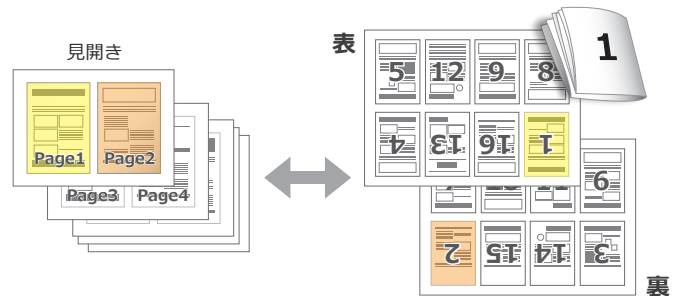


デジタル、印刷物、単面、見開き、面付け、どんな組み合わせでも検査できます (一部オプション)

単ページと単ページ、単ページと面付けの検査

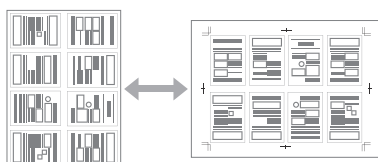


見開きと折り方により表・裏に分かれて貼り付けられた面付け

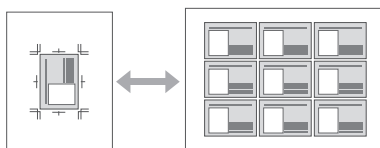


その他の機能

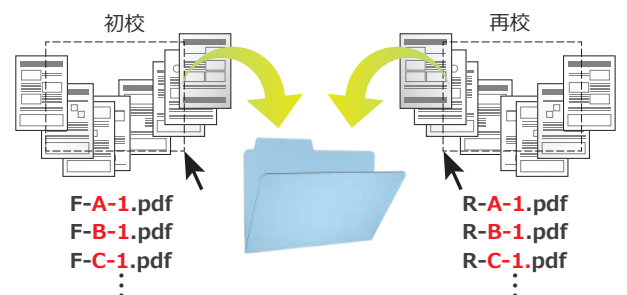
トンボのなし・ありでA3、A3ノビなど用紙サイズが異なる場合や、データが回転している場合でも、自動で位置・回転方向を検出し検査します。



単面と殖版の場合でも、同様に
回転方向や位置を検出、
貼り付けられた殖版全面を検査
し結果を表示します。



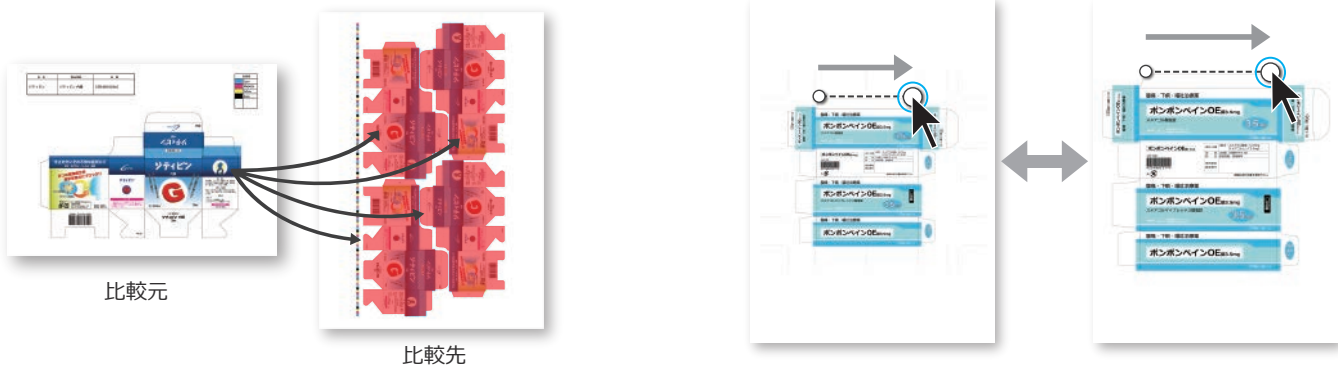
検査するファイル名が同じか、名称の一部でも同じであればフォルダに
ドラッグするだけで検査が可能です。



もちろんファイル名に関連性がない場合でも検査可能です。(裏ページCTM参照)

パッケージの様な複雑な形でも、比較元にエリアを指定するだけで、自動で比較先の中から検査すべき場所を検出、回転方向も自動で認識し全面に対し検査が開始されます。

サイズが大きく違う場合も、原稿上の同じ場所を二箇所指定するだけで、瞬時に検査に適したサイズに調整され、手間をかけず検査を開始できます。



ホールマークセンターの実際の運用例と主な機能をご紹介します

運用例① 受験用問題集 (モノクロ/250ページ)

Illustrator の塗りつぶしパターンの欠落を検出

正 誤

人の目では見落としがちな、単純な数字の入力ミスも検出

正 誤 正 誤

文字送りのピッチが変わり、改行されている部分を検出

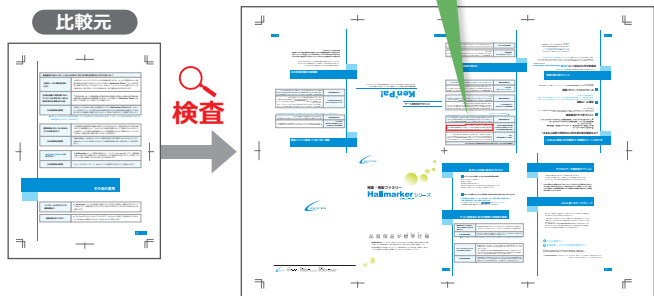
正 誤

従来の目視での検査... → 8時間程度

ホールマークセンターを用いた検査 → 2時間程度 約6時間の短縮

運用例② 取扱説明書 (2色/540ページ)

大きい面付けの紙面から、人の目では見つけにくい不良箇所を検出し強調表示しています。



人の目では不良が探しにくい面付け後のデータでも、自動で該当ページを探し出し検査を行います。回転していることも自動で判断し検査を進めます。

従来の目視での検査... → 15時間程度

ホールマークセンターを用いた検査 → 1時間半程度 約13時間半の短縮

運用例③ カタログ (カラー/1000ページ)



写真部の色調の違いを検出。製品カタログにおいて微妙な色調の変化を見逃すことは致命的な不良となりますが、目視の検査で1000ページものカラーカタログの品質を保証するには大変な時間と労力が必要です。ぜひホールマークセンターをお試しください。

従来の目視での検査... → 30時間程度

ホールマークセンターを用いた検査 → 1時間程度 約29時間の短縮

●簡単に結果を確認、見逃し無し



●結果を簡単に共有

結果確認ソフトは無料・配布自由です。離れた部署やクライアントとフォルダやメールで同じ結果を共有・確認できます。



●権限別のログイン機能で一定の検査品質を維持

システム管理者、作業担当者、承認権限者など、現場の状況に合わせ、アカウント別にログイン管理する機能により、不用意に検査設定が変更されることを防ぎ、一定の検査基準を保つことが出来るようになります。



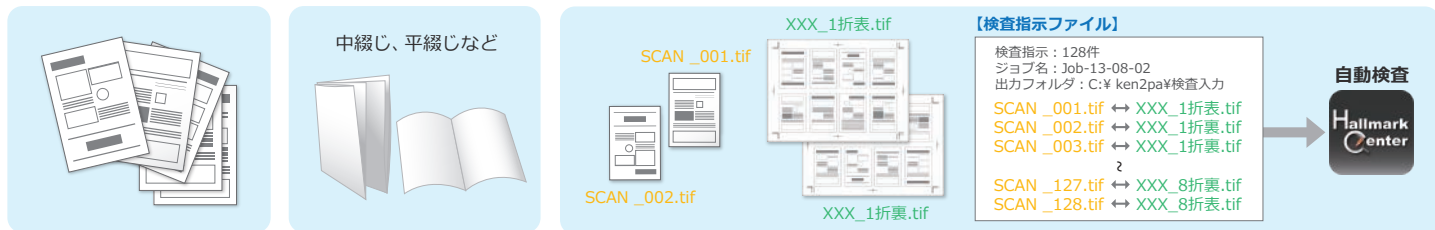
CTM シーティーエム (オプション) ¥ 330,000 (税込)

実際の現場に多い、以下のような様々な複雑な条件下でも、CTMを利用することによって自動検査して頂けることがホールマークセンターが選ばれる大きな理由のひとつになっています。



折タイプに合わせ、単ページファイルと面付けファイルを簡単に関連付けることが出来ます。

- 1 単ページデータを読み込み
- 2 折タイプを選択し
- 3 単ページファイルとどの面付けファイルを比較検査すれば良いかを関連付け、後は自動検査するだけ。



デジタルPDFオプション ¥ 550,000 (税込)

CTP 運用では刷版を出力するまでデータを確認することができません。そこで修正や各工程毎に RIP して、自動的にデータを比較検査させることのできるオプションです。途中で変更点や問題の有無をチェックできるので更に安心です。

パッケージ内容

■ 検査可能サイズ

HallmarkCenter A3+ (ホールマークセンター・エーサンプラス)
A3ノビ (329 x 530mm/400dpi相当) までの制限あり

HallmarkCenter Unlimited (ホールマークセンター・アンリミテッド)
検査画像サイズに制限はありませんが、検査可能サイズはPCのスペックに依存します。

■ 推奨動作環境

OS : Windows10 Pro/ Windows11 Pro
RAM : 8GB以上

- ホールマークセンター・サーバー(1ライセンス)
- ホールマークビューワー(フリーライセンス)
- ホールマーク クライアント(3ライセンス付属)※2
- イメージセレクター(フリーライセンス)
- ホットプリント(1ライセンス)

※1 実際の導入事例ですが、時間は検査内容、環境に左右されます。 ※推奨PCスペックは上記になりますが、システム販売となりますのでご購入の際には詳細を各販売店にお問い合わせ下さい。
※2 Ver.5.1以降は64bit製品のみとなります。32bit版をお使いのお客様はバージョンアップ時に64bit版へ移行となりますので、価格など詳細はお問い合わせください。



【神戸本社】
650-0002
兵庫県神戸市中央区北野町3-5-3
TEL 078(265)5385 FAX 078(265)5389

【東京支社】
101-0032
東京都千代田区岩本町2-8-15 井桁ビル7F
TEL 03(6876)8768 FAX 03(6683)7279

【ショールーム・ラボ】
651-0094
兵庫県神戸市中央区琴ノ緒町5-7-17 小橋ビル2F
TEL 078(265)5388 FAX 078(584)0966

【開発元】
株式会社ジーティービー
http://www.gtb.co.jp